

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun  
**稲雲**

第 21 号

令和5年 3月17日発行

発行者：校長 小貴 崇明



## ○卒業証書授与式～9年間の思い出とともに～



3月13日（月）、5～8年生の在校生、卒業生保護者の皆様、来賓の方々の参列をいただき、義務教育学校稲田学園としての第2回卒業証書授与式を挙行いたしました。36名の卒業生全員が卒業証書を授与され、9年間の学び舎を巣立

つ万感の思いが込み上げる感動的な式となりました。式後は、雨天のため場所を室内に変更して、全校児童生徒、教職員、保護者の皆様によるお見送りを行いました。卒業生の皆さん、そして子どもたちを支えてくださったご家族の皆さん、本当におめでとうございます。これからの新生活もきっと力強く歩んでくれるものと信じています。夢と希望をもって頑張ってください。



## ○6年生全員 de フルマラソン！



3月7日（火）に、前期課程6年生恒例の「6年生全員 de フルマラソン」が行われました。子ども達は、200mトラックを211周し、42kmと200mを走りました。目標タイムは2時間40分。6年生だけではなく、下級生や保護者の方にも一緒に走っていただいたことで、和

やかな雰囲気の中でのフルマラソン挑戦となりました。

200周の少し前くらいから1～5年生も応援に駆けつけ、6年生全員でゴールテープを切りました。タイムは2時間38分40秒、目標クリアです。最後の記念撮影の時の笑顔あふれる表情が印象的でした。たくさんの思い出を胸に、23日には前期課程修了式を迎えます。

## ○特設陸上部の練習始まる

3月になり、7～8年の生徒自ら志願した稲田学園特設陸上部の練習が始まっています。この日の朝練は第一体育館で行いました。顧問教師からその練習の意味を説明し、部員一人一人が目的意識を持ちながら楽しい雰囲気の中で練習を進めています。



## ○9年生を送る会～楽しい企画で受験の疲れを癒やす～

3月8日（水）、9年生に感謝の気持ちを伝えようと、児童生徒会と実行委員会が中心となって「9年生を送る会」が行われました。実行委員会企画のクイズやスライドショーが行われた他、サプライズの手作りプレゼントが渡されました。卒業する寂しさと感謝の気持ちが重なり、目頭が熱くなる場面もありました。9年生はお礼として後輩へのエールを送ってくれ心温まる会となりました。送る会の最後には各種功労賞の表彰も行いました。



## ○バイキング給食～まるでフルーツの宝石箱～

3月10日（金）、9年生にとって最後の給食でフルーツバイキングが実現。果物4種類を給食室の先生方が丁寧にカットし、教室に届けてくださいました。その食缶はまさに宝石箱のよう。子どもたちは何度もおかわりして大満足。9年生にとっても最高の思い出になったと思います。



## ○9年生による愛校作業～心を込めて力を込めて～



9年生は、卒業を前に数日間かけて愛校作業を実施しました。後期課程になってからお世話になった北校舎と昇降口を中心に、手分けして丁寧に汚れを落としています。力を込めて清掃することで、心も清められるようで、清々しい表情で校内をきれいにしてくれました。9年生のみなさん！ 本当にありがとう！！

## ★言葉と生きる(21)「春めきて 旅立つ子らと あと一日<sup>ひとひ</sup>」

3月9日（木）に、卒業式の最後の練習がありました。練習が終わると突然、子どもたちが退職する私のために感謝状贈呈と応援団によるエールを送ってくれました。大きな額に入れた寄せ書きもいただき、感無量で涙が止まりませんでした。翌日、朝の交通指導に立っていると女子生徒に「校長先生、いつもありがとうございます」と言ってもらい、また涙。感慨にふけていると、学校近くの林からは鳥たちの鳴き声、そして木々の芽も膨らんでいて、「ああ、めっきり春めいてしまったな～。9年生の卒業まであと1日限りか～」という気持ちになり、こんな俳句にしてみました。そして、もちろん卒業式にはたくさんの感動がありました・・・

※ 今回の「稲雲」が今年度最終号となります。子どもたちの学校での様子と教師の思いがご家庭に届けられればと発行してきました。読んでいただきありがとうございました。（小貫）